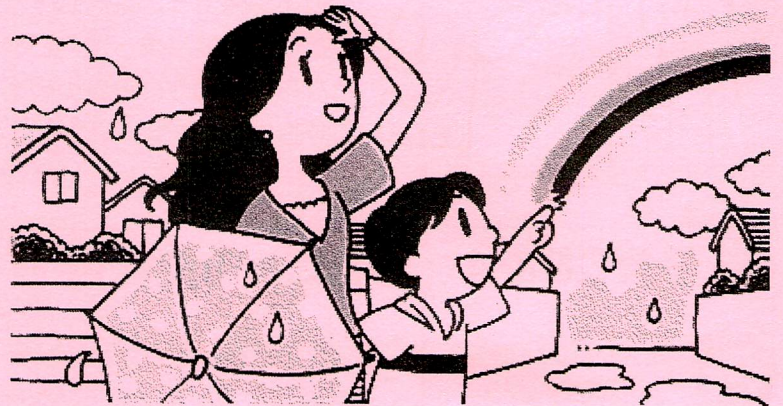


「元気」が出る家づくり

発行日 平成21年5月10日

今月のハイライト

- ・朴訥とよい家をつくり続ける
- ・スイッチは配線プランと位置に配慮を
- ・こだわりが強い子
- ・おすすめHP「オリコミーオ」
- ・簡単！食用ハーブを育てよう
- ・ようこそ、僕らの家へ



朴訥とよい家をつくり続ける

先日のヒロホーム祭は大勢の方にお越し頂きありがとうございました。

先頃、ある先輩から一つの言葉を頂きました。それは

「朴訥とよい家を作り続ける」この意味は何かと考えると、まず、朴訥とは『飾りけがなく無口なこと』と辞書に載っています。具体的には「あどけない」「飾らない」「屈託がない」とのイメージだそうです。

わたしが、わたしたちの会社が、社員のイメージが、重なるか、かけ離れていますかは、みなさまの判断にお任せいたします。

次の「良い家を」

わが社のモデルハウス。建設してもはや7年になります。このモデルハウスが家作りの原点であることは間違いありません。しかしこの間住宅は進歩し続けています。耐震強度も床に28mmのボードを敷くことにより水平強度をまし、基礎の鉄筋を密にすることにより安定感を持たせております。

住宅機器においてもグレードを上げるなど、一番住宅が必要な「子育て世代」を応援するためにも日夜努力をしております。

なぜ「子育て世代」が一番大切かと言えば、住宅を作る過程が、子育てそのものだからです。夫婦で子育ての話をして、子供が育つ環境をいかに整えるか、それぞれの家庭でここを真剣に考え話し合うことが大切です。そして家族の絆を確かめあって、家庭の、家族のあり方、子供との接し方、「いえ」を建ててからの暮らし方、一つ一つを確かめあって進めてください。

それぞれの家族構成、将来の思い、子育てに関する考え方すべて違いますし、違って当然だと思います。だからこそ、家族みんなが快適に過ごせる空間が必要だと私は思うのです。

つぎの「作り続ける」も重要な意味を含んでいるように思います。「いえ」が長く快適に暮らせ

るためには、その時々の手入れもしくは、早めの修繕、生活を変えるためのリフォームが必要です。「いえ」は作ってから体になじみ、体と一体化するには、年月がかかります。

わが社は、昭和10年に別府で創業し、別府で育てられて今日にいたっております。

「ヒロホーム」以前にも住宅部門があり記録に残っているだけで百六十余棟にのぼります。

「ヒロホーム」を始めてからは八十数棟お手伝いを致しましたが2つと同じものはありません。「続ける」ということは、過去から、現代へ、そして未来に向けて進んでいく約束だとも思います。一つの言葉から思いつくまま書いてみましたが「朴訥とよい家を作り続ける」大事にしたいと思います。

これからもスタッフとともどもよろしくお願いたします。

後藤



家づくりワンポイント

<スイッチは配線プランと位置に配慮を>



普段何気なく使っているスイッチですが、照明やコンセントなどの電気配線のプランニングは家づくりの大切な要素です。どんな配置にするか、設計の早い段階で決めなければなりません。気をつけたいのが、ドアや家具などとの位置関係です。入居してタンスを置いたら隠れてしまって使いづらい……とならないよう、家具の配置を前もって計画しておきたいところです。

スイッチの取り付け位置は、基本的

には床から110～120cmとされています。また高齢者の場合、90～100cmにすると使いやすいといわれます。住む人に合わせてちょうどいい位置を確認しましょう。

スイッチカバーの色はインテリアに合わせて、基本のホワイトをはじめ木質のベージュ、和室に合う利休色などを選べます。凝ったデザインの陶器のものもありますね。部屋に合わせて楽しく選んでください。

? 子育てQ&A ～こだわりが強い子～

Q 4歳の娘が、服選びから着替える順番などこだわりが強く、思い通りにならないと泣きわめきます。このままだとわがままな子になりそうで心配です。

A 家事などでママが忙しい時に、娘さんのこだわりに付き合うのは大変でしょう。どこまで要求を受け入れたらよいか、親として葛藤するところですね。

コツとして、「〇〇したいのね」「なるほど、そうしたいのね」と一旦子どもの言う事に相づちをうってあげましょう。これだけでも子どもの反応が変わることがあります。どんなに小さな子も、その子なり

に主張があるものです。それを無理に抑えようとすると、わかってもらえない悔しさからますます反抗します。いったん言い分を受け入れてから、お互いの妥協点を見つけることを繰り返しましょう。

多少時間はかかりますが、そのうちこだわりが「ゆるむ」タイミングがつかめるようになるでしょう。甘えやタダこねでストレスを発散していることもあるようです。おおらかに接して下さいね。



ようこそ、僕らの家へ

「東洋のラスベガスと呼ばれる街」

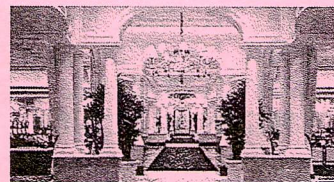
～マカオ／中国～



美しい建物に囲まれた「セナド広場」

中国の南岸、南シナ海に面するマカオは、大航海時代ポルトガルのアジア進出の拠点として建設されました。ヨーロッパを思わせる美しい建物が中国風の街並みに溶け込み独特の雰囲気を出しています。

ポルトガル統治時代の、マカオ市政庁の正面に位置する「セナド広場」は独特の石畳が特徴で、伝統的なヨーロッパ式の美しい建物に囲まれ、異国情緒満点の雰囲気



気軽に行けるマカオの「カジノ」

を味わえる観光の拠点です。広場の中央にある噴水の中には、ポルトガルの大航海時代を象徴する地球儀があしらわれています。

ラスベガスを抜いて世界一のカジノになったといわれるマカオには、豪華なカジノホテルが続々と建っています。世界一といってもマカオのカジノは庶民的。超豪華な内装と設備が整っていますが、カジュアルな服装で楽しむことができます。

● 今月のお薦めホームページ

●オリコミーオ

<http://www.dnp-orikomio.com/>

毎日、新聞の折込チラシで特売情報をチェックするのが日課という主婦の方は多いですね。でも、うちは新聞を取っていないから広告が見られなくて…という方に便利なサイトが、インターネット広告サイト「オリコミーオ」です。

関東から九州までのあらゆる広告をウェブ上でエリア別にチェックできるだけでなく、最新のチラシを検索できるので、お住まいの近くの特売情報などを

調べることができます。常に新着の広告チラシが更新されていて、眺めるだけでもにぎやかで楽しいですよ。

広告チラシのほかに、全国のプレゼントや懸賞情報が掲載されているコーナーや、おすすめのレストラン情報も充実しています。お出かけ前にチェックしておく、よりお得なショッピングや食事を楽しめそうですね。



● アイデアノート ~簡単！食用ハーブを育てよう~

料理の味を引き立てたり、嗅ぐと心身ともにリラックスしたり。
 良い香りのするハーブを自宅で栽培してみませんか？
 今回は、食用ハーブを気軽に育てる方法をご紹介します。

●好みのハーブを選んで

ハーブとひと口にしても色々な種類がありますね。バジルやローズマリーなどスーパーの野菜コーナーに並んでいる、パック入りの料理用ハーブを利用して、自宅で簡単に育てることができます。



●余ったハーブを水栽培に

料理などで使った後、余った分があればとりあえず水に差しておきましょう。買って来たときにしんなりしていても、水切りして茎の切り口を新鮮にすると葉の先端までちゃんと元気になり、数日たつと新芽がは始めます。

上手に育てるコツは、水につかる部分の茎に付いている葉をキレイに取り除くことです。こまめに水をかえることをお忘れなく。クレソンやオレガノ、ミントやバジルなどが、育てやすくおすすめです。

●土の代わりにセラミスで

香葉など根付きで売られているものは、室内栽培用に開発された「セラミス・システム」を利用すると簡単に栽培できます。DIY店などで販売されている「セラミス・シス



テム」は、培養土と肥料と水分感知器を使う栽培方法です。土に植える代わりに、顆粒状の「セラミスグラニュー」を使って、透明のコップやビンで栽培します。このシステムは水はけを気にする必要がないので、容器の底に穴が開いていなくても大丈夫。植えてから10日ほどで新芽が増え成長します。自分で育てたハーブで、お料理のレパートリーを増やしませんか？

ローコスト住宅研究会事務局

ワクワク系株式会社 後藤工務店

【展示場】〒874-0833

大分県別府市鶴見町2組の1

【事務所】〒874-0930

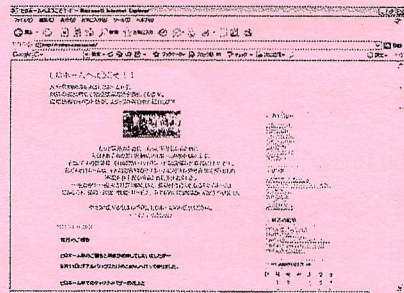
大分県別府市光町7-26

電話 0977-22-7011

Fax 0977-22-7040

家づくりなんでも相談窓口 hirohome@ctb.ne.jp

ヒロホームのHPができました <http://www.ctb.ne.jp/~hirohome>



↑
ブログ公開中。



→
携帯電話からは
こちらをご利用下さい

<http://www.ctb.ne.jp/~hirohome>



～誰も話さない、安くていい家づくりの方法～

第四十八章

今回からは絞り込んだ業者の中から、どうやって最終的なパートナーを決定するか？を何回かに分けてお話ししてみようと思います。

まず最初に確認します。

絞り込めた業者は何社ですか？

2社！という方

もう一息ですね！実は本心はもう決まっていたりして…もう一社のほうを断りにくいだけだったりしませんか？

3社！という方

今まで個人的な経験ではこのケースが一番多いです。根拠はよくわかりませんが…。

4社以上という方

まだ次のステップには進むべきではないかも…。選択肢としては多いかなあと思います。まずはもう1社減

らしてみましょ。

余計なお世話だという方もいるかもしれませんが。

ところで、この時点で1社！という方はいますか？

おめでとうございます。もう運命の1社と出会えたのですね。

みなさんが家づくりに使うエネルギーをその業者さんとの打合せに充ててください。

そうです。

鋭い方はもうお気づきですね！

家づくりは既製品を買うのとはわけが違います。

同じように見える家でも、スイッチの位置、コンセントの数、壁紙の色、設備仕様まで含めて考えれば2

軒と同じ家はありません。

1軒の家の検討材料（図面や見積り）を作るだけでも、みなさんが想像しているよりも膨大な量の打合せが必要になります。

みなさんの自由な時間は際限なくあるわけではないですよね？

選択肢が多ければ多いほど、各業者との打合せの内容は希薄になります。

それによって本命業者との大事な打合せに支障がでるようなことがあれば本末転倒ですからね。

☆本日のまとめ☆

真剣に検討する選択肢は
2～3社に絞りましょう！